

## 川内原子力発電所の海水取水設備における漂流物対策について

## 1. はじめに

昨今、小笠原諸島の海底火山噴火の影響により、沖縄県を中心に軽石が漂流している事象が発生しています。

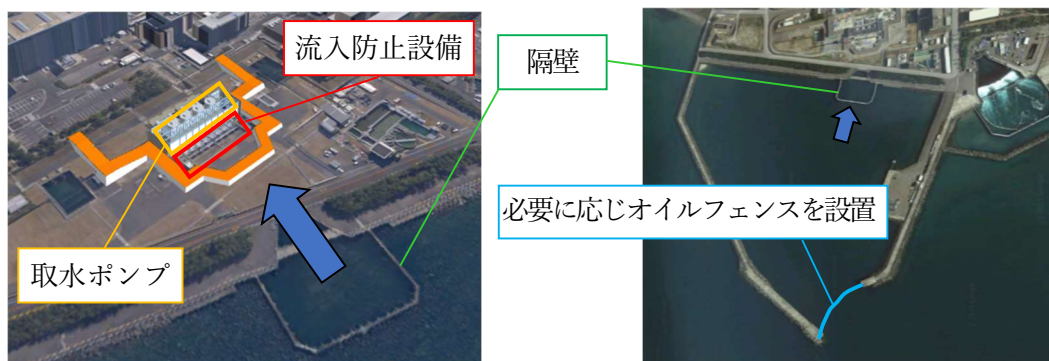
川内原子力発電所では、機器の冷却やタービンで使用した蒸気を水に戻すために海水を取水していますが、取水した海水中の漂流物がポンプに吸い込まれないよう、隔壁<sup>※1</sup>や流入防止設備<sup>※2</sup>を設置するとともに、現在、軽石の漂着に対して監視強化を行っています。

現時点において川内原子力発電所に軽石の漂着は確認しておらず、安全・安定運転に影響はありません。

## 2. 監視強化

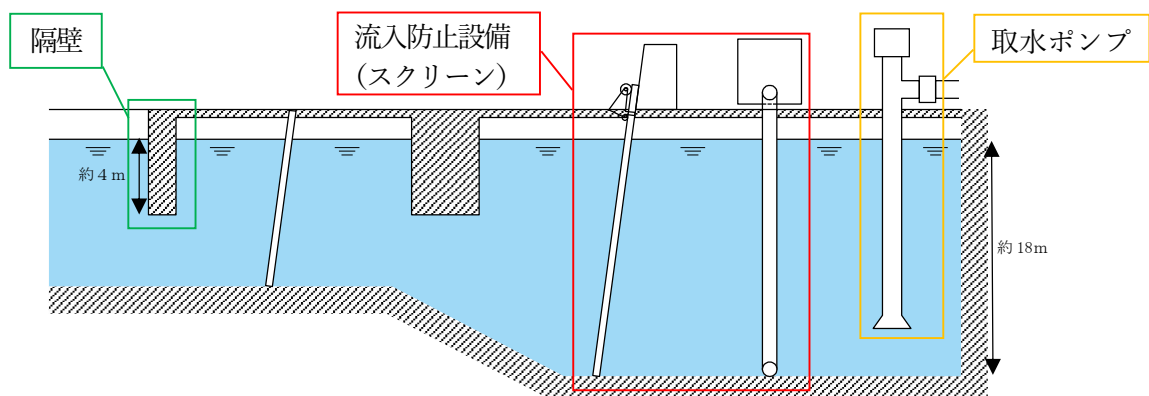
川内原子力発電所では、現在、監視強化として軽石の漂流に関する情報に注意を払うとともに、海水中の漂流物を除去するスクリーンの前後の水位差や捕集されたゴミ等を確認し、軽石が漂着していないことを確認しています。

今後も引き続き監視強化を行い、必要に応じてオイルフェンスの設置や取水口廻りのパトロール頻度を増やす等の対応を行うこととしています。



(川内原子力発電所 取水設備の外観)

- ※1 隔壁：表層の漂流物が流入しないよう隔壁を設けることで、海面から数メートル下の海水を取り入れる。
- ※2 流入防止設備：取水した海水中のゴミ等がポンプに吸い込まれないようにする網状の設備。ゴミ等の量や取水状況に応じて、適宜、流入防止設備に捕集されたゴミ等を回収することとしている。



(川内原子力発電所 取水設備のイメージ図)